

<「知るっば!久留米」 令和3年2月18日(木) 12:30~放送分>

久留米藩主有馬家墓所 ～第1回～ 「久留米藩主有馬家墓所が国史跡へ(1)」

<ゲスト：久留米市役所 文化財保護課 神保公久さん>

坂本 MC (以下「坂本」)

「知るっば久留米」ナビゲーターの坂本豊信です。

令和2年11月に国の文化審議会から『久留米藩主有馬家墓所を国の史跡』に指定するようにという答申が出ました。

今回は、その有馬家墓所についてお話をお伺いしていきます。

ゲストはこの方です。

ゲスト:神保公久さん(以下「神保」)

久留米市役所文化財保護課の神保と申します。

久留米市内の文化財の調査や保存活用の仕事をしています。

よろしくお願ひします。

坂本 神保さん、墓所というのは、お墓の事ですよね？

つまり、有馬家墓所というのは、有馬家のお墓ということだと思います。

この有馬家というのは、久留米藩主であるわけですけども、

まずは、この久留米藩主有馬家についてお話を伺いたいと思います。

神保 江戸時代、筑後地方の北部は、久留米藩というひとつの大きな藩でした。

そこを治めたのが、大名有馬家だったのです。

21万石という大きな藩で、当時、全国の300余りある藩の中で20番目の石高(こくだか)を誇るとても大きな藩でした。

坂本 20番目ってなかなか大きいんですよね。私もそんなに大きいとは知りませんでした。

久留米藩を治めた大名有馬家は、そもそもどこの出身なんですか？

神保 久留米を治めた大名の有馬家ですが、元々は兵庫県の有馬温泉付近が出身といわれております。

坂本 なるほど、だから有馬家なんですね。

神保 室町幕府の要職を務めた赤松家というのがありますが、そちらにルーツを持っております。

初代久留米藩主となる有馬豊氏(とようじ)のお父さんの則頼(のりより)の頃から、

豊臣秀吉に仕えていました。

坂本 豊臣方だったんですね。

神保 その後、関ヶ原の戦いでは、今度は徳川方の東軍に味方しておりまして、その功績から、則頼が兵庫県の三田市に2万石、豊氏が京都府の福知山市に6万石を授かっています。
その後、大坂の陣でも功績をあげておりまして、400年前の元和（げんな）7（1621）年に、21万石の大名として豊氏が久留米に入ってくることになります。
これは、大出世と言えらと思います。

坂本 なるほどね。戦いで手柄を立てて、石高の大きい土地にどんどん移っていくという、戦国時代ならではの動きかなと思います。
では、有馬家以前の久留米は、当時、どんな状況だったのでしょうか？

神保 戦国時代の久留米ですが、豊後地方（大分県）の大名大友（おおとも）氏と肥前国（佐賀県）の大名龍造寺（りゅうぞうじ）氏が激しく争っておりました。
そして、筑後地方には、高良山の勢力や草野氏、星野氏、蒲池氏などの有力者達があったのですが、その争いに巻き込まれるような形で混沌とした状態でした。
その後、薩摩（鹿児島県）の島津（しまづ）氏が北部九州に進出してくると、大友氏から救援要請を受けた豊臣秀吉が九州に出兵しまして、1587年に九州を平定することになります。

坂本 その頃は、全国的にも大きな歴史の動きがあったんですね。
日本史のそういった動きの中に久留米もあって、それで秀吉が九州を平定したんですね。

神保 豊臣秀吉の九州平定後、この久留米には、毛利元就（もとなり）の9男の小早川秀包（ひでかね）という大名が入城しています。
この小早川秀包は、久留米城に入城すると、久留米城と城下町の整備を進めています。
しかし、1600年の関ヶ原の戦いで西軍についたために、お家取り潰しとなってしまいました。

坂本 あ～、厳しいね。

神保 その後、石田三成を捕らえた功績などで、田中吉政（よしまさ）が筑後一国を治める大名として柳川城に入城しています。
この時、久留米城には田中吉政の次男の則政（のりまさ）が入城しましたが、この田中家は、2代目の忠政（ただまさ）に世継ぎがいまませんでしたので、1620年にお家断絶、改易（かいえき）とされてしまいました。

坂本 なるほど。それで、いよいよ有馬家が出てくるということですね。

神保 その後、福知山を治めていた有馬豊氏が、筑後北部の久留米藩を治める大名として移されて来ることになります。

その後、明治維新を迎えるまでの約250年間、有馬家11代の歴代藩主達が、久留米藩を治めていくことになります。

坂本 ということは、江戸時代はかなりの期間、大名有馬家が久留米を治めていたということになりますね。

神保 この11代の藩主たちは、各藩主ともに藩内の寺社仏閣の整備、筑後川をはじめとする河川の改修などの治水、そして田畑の開墾、産業の開発や振興などに尽力していき、現在の久留米市の発展につながる功績をたくさん残しています。

今でも久留米市街地の区画、それから主な幹線道路、寺社仏閣、特産品、産業など、私たちの身の回りにたくさんの痕跡を残しています。

坂本 なるほどね。江戸時代の藩主たちの功績が、今に生きる私たち久留米市や久留米藩内の久留米市以外の市町村にも受け継がれているということになりますよね。

その有馬家の歴代のお墓、墓所と呼んでいらっしゃるんですけど、その墓所が、国の史跡『久留米藩主有馬家墓所』ということになるわけですね？

神保 はい、そういうことです。

今日はちょっと時間がなくなりましたので、次回、詳しくお話したいと思います。

坂本 文化財保護課の神保さん、興味深いお話をありがとうございました。

今日は、時代背景を色々教えていただきまして、

次回は、いよいよ『久留米藩主有馬家墓所』の詳しい話をお伺いしていきたいと思います。お楽しみに。